

# JGAP 認証取得【労働安全】及び

## 交流活動時の事故、怪我があった時の備え

動物科学科 養牛専攻（3年 グリーンライフ）

### 1 本時の授業

GAP 認証取得【管理点 16.4 事故の備え】および本校の牛を活用した交流活動を実施した際、傷病者が発生時の訓練と対策を考えました。

#### ※ 【補足説明】 GAP (Good Agricultural Practice) とは

「良い農業の実践」と略されます。JGAP の畜産・畜産物は4つの柱（「食の安全」、「労働安全」、「環境保全」、「アニマルウェルフェア（動物福祉）」）があります。GAP 認証は持続可能な経営や信頼度向上といったメリットがあります。

### 2 授業内容（2時間連続の授業）

- 1 担架の設置場所の確認
- 2 担架に不備がないかのチェック
- 3 担架の使用方法的確認
- 4 傷病者を想定した担架での運搬方法
- 5 事故発生時に必要な備えは？
- 6 感想の記入と自己評価



授業日：令和4年10月18日（火）

#### 本時の感想（傷病者と運搬者をして）

担架に乗っているときは頭の方を少し上げてもらわないと怖かったです。担架で運ばれているときは周りが見えず、傷病者に意識がある場合は、声をかけて安心してもらえるように心がけたいと思いました。4人で持ち上げるよりも2人で持ち上げた方が持ち上げた時の力が必要ですが、声をかけてタイミングを合わせやすく、安定感がありました。しかし、長い距離を運ぶのは4人以上いた方がいいと実感しました。隣で担架を持っていると人と高さ、歩くスピードを合わせるのがとても難しかったです。